

新滝ヶ洞溜池の水質異常に係る対策協議会
第 2 回 対策協議会

1 . 足立委員への回答	-----	1
2 . 協議会への意見質問一覧	-----	2

平成15年8月26日

新滝ヶ洞溜池の水質異常に係る対策協議会
委員各位

国土交通省
多治見砂防国道事務所長

飲料水の補償について

平成15年7月10日付 新滝ヶ洞溜池の水質異常に係る対策協議会 準備会の席上で足立委員より「大萱地区の飲料水の補償は国土交通省が行うべきではないか」という問いについて文書での回答を求められたことに関し、下記のとおり回答する。

記

大萱飲料水供給施設から供給している飲料水（浄水）は、水質基準に適合しておりまた、第1回協議会資料 - 2 の「3 - 3 . 周辺井戸への影響検討」でも残土処理場の影響を受ける可能性がないとの結果から、現段階では国土交通省として補償できない。

協議会への意見質問一覧

No.	日付	住所	意見	対応	委員への提示
1	2003/7/24(木) 協議会会場の 意見箱にて	可児市大森 T氏	<p>専門的なことはわからないので、とにかく住民が不安に思っていることをきちんと答えるべきだと思った。 特にボーリング調査の箇所を増やすこと、米の調査等</p> <p>協議会の中で、調査は1年を目途にということだったがそんな短期間で良いのだろうかと思った。</p> <p>学識経験者の方々の中で現地を見ていない人もいるということについて驚いた。 現地を見ることは最低限の義務だと思う。</p>	<p>、：いただいた意見を踏まえながら、協議会を運営していきたいと思 います。</p> <p>：ご指摘の「調査」が何を指すのか曖昧ですが、周辺井戸への影響検 討のうち、移流拡散シミュレーションを指すのであれば、第1回協議会で 説明した解析は、短期予測(1年)であり、将来的(長期的)な予測は、地 質調査等を実施の上、詳細な検討を行う必要があると考えています。</p>	第2回協議会(8/26 (火))に委員へ提示
2	2003/8/20(水)	可児市柿下 I氏	<p>小淵溜池の水質検査の結果について、5月16日に採水したもの(6月11日説明会資料)について、 pHが8.74を示していることの原因は何か。</p>	<p>ご指摘のpH値=8.74は、現地で簡易的に計測した値であり、目安と して考えている値です。このため、正確なpH値は、試験室に持ち帰り、計 測することとしており、pH=6.9が正式な値です(同じ資料に記載してあ ります)</p>	